



#002

特別企画

日本で活躍する アジアの若者たち

まずは自己紹介を兼ねて、どうして日本の会社を選んだのか教えていただけますでしょうか。

ダワーージャブ モンゴルの高校では必修科目である日本語を3年間勉強しました。日本の大学に入学したら奨学金がもらえるということが動機でこちらの大学に入学しました。土木を勉強したい。どうやって橋などのインフラが作られていくかわかっていく事を楽しみにしていました。やはり会社に入って仕事を通じて理解するのがよいのではという考えに至り、会社に入りました。

シン 私はこの中では最年長で大学や会社に入ったきっかけは十数年前のことになるので皆さんとは違うのですが、中国の大学を卒業して建設会社で働きました。そのとき中国は不動産ブームの只中で、ブームの中でも20年後、30年後に自分がどうなるか不安な思いがありました。日本は今も昔も、中国の数十年前を行っている。いわば日本の今は中国の未来なんです。そこで日本の大学や会社で技術を学べることは多いのではないかと考えました。初めてPCに触れたのは広島大学の大学院でPCの研究をした時、その後先生から聞いて興味をもった安部

フィン 日本に来た理由は2つあります。1つは海外で勉強することに魅力を感じていました、2つは尊敬する父が建設の仕事をやっている子供から工事現場に連れて行ってもらう、自分も将来は未来に残せる仕事をやってみたいと思ったからです。日本に来て土木の仕事について自分の夢に向かって、一步一步進んでいるという実感があります。

高校卒業後は、日本のほかにもアメリカ等の他国で学ぶという選択肢もあったのですが、日本には戦後の短い期間で高度成長し、世界のトップにまで発展したという実績があるので、その日本で学びたいと思いました。

グエン ベトナムで子供のころから日本人に作ってもらった橋をよく見ってきました。ものづくりが好きだったので、いつかは大きな橋を自分で設計して造ってみたいと思いました。大学院で勉強するという選択肢もありましたが、経済的に考えると給料をいただいで勉強できるというところが魅力で会社に入ることにしました。

会長 ベトナムや他国の人と話をする、日本が終戦後たった50年、60年でよくこんな国になったもの

日鋼工業(当時は安部工業所)に入社することができました。

イ 高校から理系の勉強をしていて物理が好きでした。将来はアメリカか日本へ留学したいと考えていました。なんとか自力で行けないか色々調べました。そこで韓日共同理工学部留学生事業を知り、日本で大学進学することを決めました。実は留学した電気通信大学では土木でなくて量子物理を勉強していたのですが、学部生として物理に限らず幅広く学ぶ機会を得て、ものづくりに大変興味を持ち、さらに橋などのインフラがどうやって作られるのかに興味をもつことになりIHインフラ建設に入社することになりました。

会長 土木の会社に入るから土木・建築の学部であるというとは必要ないでしょうね。ダイバーシティが重要な今、広い分野の出身・職種などいろいろな人がいないと技術の発展はないと思います。

シン 会長がおっしゃった「ダイバーシティ」はとても大事であると考えています。外国人・性別・障害者などいろいろな人がかかわることで企業や組織の活性化につながると思います。

だという驚きをもたれるようです。彼らは自分たちの母国でもぜひやっていこうという励みに感じられるみたいですね。

母国に帰って社会資本整備をしたいというのが夢ですか？

グエン まず、技術を学んで、自分を強くして、将来会社がベトナムに進出するならば自分も参加したいと思っています。その時に会社にも母国にも貢献したいと思っています。

テイハ 私は子供のころからエンジニアになりたいというのが夢でした。大学を卒業してしばらく国の建設会社でビルディングの建設をしていましたが、エンジニアとして専門性を高めたいと思って、海外の会社に興味をもつようになり、入社試験を受けようと思いました。いろいろな会社がありました。私の大学に日本の企業からリクルートがあり、知人から紹介してもらって、それがプレストレストコンクリートで橋梁を造る会社でした。とても興味をもち入社しました。2013年8月に入社して、日本ではいろいろなことが多く、新しいことばかりで、毎日がゼロからの挑戦でした。現在は熊本県の石田橋で、張出し施工の仕事に従事しています。



オリエンタル白石㈱
東京支店 施工技術部 土木チーム
ゲン バン ユン
出身国：ベトナム社会主義共和国
略歴：入社1年目
3ヶ月の本社研修の後、現在の職場に
配属され、橋梁の設計に携わっている。

ベトナムで子供のころから
日本人に作ってもらった橋をよく見てきました。



設計勉強中

イ 施工管理でも「ここまでやるのか」ということはよく感じます。危険予知訓練・事故防止はとても大事なことで、それだけ仕様書が細かくてもいいと思います。設計において細かくマニュアル化されていることも、安全のための基底になると思いますので、マニュアルに限られていると思うよりそれをよく踏まえたいという自由で考えることが重要だと思っています。そしてそのためには、マニュアルの根拠を科学的に明らかにする必要がありますのではないかと思

シン 工期を守ることに日



三井住友建設㈱
土木本部 土木設計部
**フィン ティー
ファン チャン**
出身国：ベトナム社会主義共和国
略歴：入社2年目
PC橋や土工の現場研修後、設計
部に配属。先輩の下で設計業務に従
事している。

日本には戦後に自国の力で高度成長し、
世界のトップにまで発展したという実績があるので、
日本に学んで母国で頑張りたいと思っています。



先輩と解析結果の打合せ中

フィン 時間をちゃんと守らないことがある私が言うのは恥ずかしいですが、やはり時間を守ることができると、他のこともきちんとできると思います。特に建設業界では、一人ではなくチームの作業がほとんどです。工期や書類の提出期間などを守る必要があるため、時間を守ることで、より時間を有効的に使うことを実感できました。

シン 現在は高炉スラグ微粉末など
を使った低炭素コンクリートや情報
化施工に関連する技術開発業務、現
場支援業務をやっています。技術の
仕事なので『プロ』という評価を受け

て若い人への教育にもかかわってき
ます。マニュアルがあると手順が徹
底されるが、それ以上ことができ
なくなるという一長一短があります。
どううまくやるかが大事ですね。

フィン 日本人は順応力が高く、秩序
を重んじ繊細な性格を持っているか
らこそ、ものづくりが上手という特徴
があると思います。特に建設では大

本の考え方はとても良いと思います。
みな時間をきちんと守ることは協
力して仕事を進めるためには重要
なことだと思います。

将来の抱負を聞かせてください。
ダワージャブ 今の目標は仕事を覚
えて1人前の技術者になりたいと
思っています。その後は会社の仕事
でモンゴルのプロジェクトに携わる
ことを希望しています。将来モン
ゴルに戻って定住することは考えて
いません。日本語を使って日本の経
験を大事にしていきたいと思ってい
ます。日本とモンゴルを行き来で
きる技術者になりたいですね。

シン 停滞というのは言い換えれば
安定ですね。日本のメーカーの作
る新製品というのは機能がアップす
るという面はありますが、ある程度
想像できる新製品であるのに対して、
iPhoneやFacebook
とか米国では革新的なものが生み

フィン 日本企業はそれを1台3億円で売
る。若い人が思い切ったことができ
ない規制や、前例がないとかいう目
に見えない障害が多い気がします。

ダワージャブ 4月から3ヶ月研
修を受け本配属までいたりした
が、細部まですべてやり方が決まっ
ているところが驚きです。決まってい
るところがとて多くどこから学べ
ばよいか判らないくらい(笑)。いろ
いろ決まっていることに関しては、遊
牧民であるモンゴル人の国民性から
「本当は大丈夫なんですよ」と思い
がよぎるのですが(笑)、常に勉強と
思っています。

シン 仕事のやり方に関しては日本
人は真面目で細緻なのに対し、中国
人は大雑把の人が多いです。日本
人は工期を大事にし、事故率もとて
も低い。みんなの創意工夫の結果で
あると思います。だが、一方でマン
ユアル化しすぎるとなぜここまです
きかということが判らなくなってい

最近の日本は、少し元気がないと
か停滞していると言われていま
すが、日本の技術の特徴をどのよう
に見ていますか？

シン たとえば医療ロボット『ダ
ヴィンチ』の技術に関しては部品の
多くが日本製だといわれます。米
国の企業はそれを1台3億円で売

ダワージャブ 4月から3ヶ月研
修を受け本配属までいたりした
が、細部まですべてやり方が決まっ
ているところが驚きです。決まってい
るところがとて多くどこから学べ
ばよいか判らないくらい(笑)。いろ
いろ決まっていることに関しては、遊
牧民であるモンゴル人の国民性から
「本当は大丈夫なんですよ」と思い
がよぎるのですが(笑)、常に勉強と
思っています。

シン 仕事のやり方に関しては日本
人は真面目で細緻なのに対し、中国
人は大雑把の人が多いです。日本
人は工期を大事にし、事故率もとて
も低い。みんなの創意工夫の結果で
あると思います。だが、一方でマン
ユアル化しすぎるとなぜここまです
きかということが判らなくなってい

会長 私の最初の現場経験は佐賀
で薦さんや職長さんなどからいろ
いろと多くの経験・知識を得ました。
ぜひ現場の方々にたくさん接する
といいと思います。

出されます。日本の方々には皆さん
優秀なのだが、ある枠の中で優秀と
いう印象を受けます。日本では今
までの延長ではなく、もっと大きな
視点で見てやっていくということが
必要なのではないかと思っています。

大きなプロジェクトもミリ単位にまで注
意を払い、少々のズレが大きな問題に
なることを判っています。細かなこと
ろから大事にするという気持ちを持
って仕事をしているところが一番
重要なことだと思います。

会長 PCの仕様書など昔は決
まっていたところは少なく、欧米の
仕様書を先輩方が翻訳して使って
いました。現在の仕様書が細かく
決まっているのは何十年の積み上げ
からの結果・成果であり、それに基
づくことが非常に大事なことです。
一方で決められていることが本当に
正しいのか常に自身で考えていくこ
とも大事でしょうね。



㈱ピーエス三菱
東京土木支店土木技術部
ダワージャブ
出身国：モンゴル
略歴：入社1年目
3ヶ月間の新入社員研修を終え、土木
技術部に配属。現在、PC橋梁の設
計業務に携わっている。

今の目的は仕事を覚えて
1人前の技術者に成りたいと思っています。



新入社員研修での測量実習



㈱安部日鋼工業
技術工務本部 技術開発部 開発課
辛 軍 青
(シン ジュン チェン)
出身国：中国
略歴：入社15年目
PCタンクや橋梁の構造解析、特殊コ
ンクリートの製造、新技術新製品の開
発に携わっている。

技術の仕事なので
『プロ』という評価を受けたいですね。



社内での新規開発ミーティング



一般社団法人
プレストレスト・コンクリート建設業協会 会長
則久 芳行

座談会を終えて

今後の日本の建設会社は、人種、国籍、性、年齢を問わず人材を活用する、いわゆる「ダイバーシティ」へ向かっていきます。母国を離れて海外で仕事をしている皆さんと話をしていて、生まれた環境が違うこともあり、斬新な目で建設会社や業界を取り巻く環境を見ていると感じました。私たちの造るものは社会にとって重要な社会基盤であり、かつ人の命に関わるものです。特に日本の安全に対する認識をしっかりと勉強して

いただいて、アジアのスタンダードを作りたいと望んでいます。また、皆さんに元気、気合い、情熱をいただき大変嬉しく思っています。この「熱さ」を日本の若者にも是非伝えたいですし、共に仕事へ取り組みむことで職場に良い相乗効果が生まれることを確信しています。最後に、常に前向きに明るく厳しく仕事に臨み、アグレッシブにチャンスを掴んで、今後世界で活躍されることを願っています。



㈱富士ピー・エス
九州支店 工務部 工事チーム
ティハ ナイ
出身国：ミャンマー連邦共和国
略歴：入社2年目
現在はPC橋（張出し施工）の現場管理員として従事。

日本の現場は安全や品質管理に関してとても厳しいと思います



橋体完成後の出来形測量

たいですね。「プロの技術だね」といわれたんです。「技術を極める」という言葉はとても気に入っている言葉です。技術は国境がないため、日本でも海外でも通用する人間になりたいです。

イ 現状には満足感があります。まずは土木・建設でプロの技術を身につけ、仕事を任せられるよう一人前になりたいと思っています。世界と競争をしていくのに日本と韓国が協力して進めていくのもよい形ではないかと思っていますので、それに役立つ

つものになりたいと思っています。

会長 日本も韓国も狭い国なので共に外に向かって強くなっていくというのがいいですね。

フィン 近い将来には一人で設計できるような力をつけたいと思っています。19歳の時にベトナムから日本にきているので日本は第2の母国です。将来は国を限らず、日本・ベトナム・アジア・世界に橋を架けて行きたいと考えています。自分の力が、少しでも人々の役に立つことが、技術者



グエン 現場をまかされて一人前になりたいと思っています。日本にも貢献したい。日本でこれからの生活もとても楽しみ。現場を感じながら仕事をしたいと思っています。将来は自分の国のためになりたい。

会長 ぜひ頑張ってください。

ティハ 色々な橋梁の現場で監理技術者や現場代理人など現場を任せられるくらいの人になればいいなあと思います。そのために資格の習得が大事です。ですから日本語ももっと上手くなり、土木施工管理技士やPC技士の資格も取りたいと思います。母国では、道路や鉄道な



㈱IHI インフラ建設
PC事業部 PC技術部 東設計G
李明媛
(イミョンウォン)
出身国：大韓民国
略歴：入社後PC技術部に配属。
1ヶ月の研修を終え、PC橋梁の設計業務に携わっている。

職人の技術を科学的に分析し、数値化するというのは他分野では試みがあるが、建設でもそういう動きがあっていると思います。



CADで配筋図を修正中

として一番の誇りだと思っています。

ドインフラ整備が日本に比べて40〜50年遅れています。その遅れを取り戻すために日本でのPC技術の経験を生かしたいと思っています。

会長 ミャンマーには土木と建築を分けた考え方はないですね。私もいつも言っていますがPCの世界でも土木・建築の区別はいらないうと思っています。PCの技術が橋だけでなくいろいろな分野で生かされていくべきで、そのために資格をとって勉強するのはとても大事ですね。私はその熱い心がとても大好きです。